

「EUがあなたの学校にやってくる」 —駐日欧州委員会代表部の地方訪問—

欧州連合（EU）加盟国の大使及び外交官が「EUがあなたの学校にやってくる」と題し、出張授業を行っています。本出張授業は5月9日の「ヨーロッパ・デー（EU創立記念日）」に併せ、5月7日、8日に開催されました。全国36都道府県の106校、約4万人7千人の高校生が、EU加盟国の大使及び外交官による出張授業を受けました！

そこで駐日欧州委員会代表部のマリエレーヌ・ヴィレイユ広報官、ビンセンテ・J・ルナ広報官、市川啓子広報担当官、末常美和子報道担当官に対し、本出張授業についてインタビューを行いました。

1. この出張授業を始めたきっかけは何ですか？

1957年3月25日のローマ条約調印から、50年目にあたる2007年に「日本の若い世代に対し、もっとEU加盟国のことを知ってもらうイベント」として学校訪問を行うようになりました。今年で3年目を迎える出張授業は、毎年「ヨーロッパ・デー（EU創立記念日）」に併せて開催されており、多くのメディアにも紹介され、大成功を収めています。

【参考：これまでの出張授業の規模等】

訪問年	訪問対象先	訪問校	参加生徒	参加EU大使及び外交官
2007年	首都圏の中学校、高校	77校	約2万人	75人（うち大使22人）
2008年	首都圏を除く全国の中学校、高校	105校	約4万人	69人（うち大使20人）
2009年	全国の高校	106校	約4万7千人	61人（うち大使17人）

2. 訪問先はどのように決定されますか？

参加生徒数の多い学校には、大使、日本語のできる外交官を優先的に派遣します。また学校側から訪問希望国や、EU加盟国からの訪問希望地、訪問希望学校等の要望を踏まえ、訪問先を決定します。みなさんの要望に応えられるようアレンジしていますが、学校側とEU加盟国側、双方の希望やスケジュールを合わせることは大変難しい作業です。

また訪問希望校の募集については、駐日欧州委員会代表部ホームページ、各都道府県東京事務所、都道府県教育委員会、EU協会、大学のEU情報センター等を通じて参加呼びかけをお願いしました。

3. 出張授業の様子を教えてください。

基本的に授業は1時間で、前半30分は「EU組織、欧州の歴史、文化、将来のビジョ

ン等」についてパワーポイントを使用し分かりやすく説明を行います。本説明資料は、駐日欧州委員会代表部の広報部にて作成しています。後半30分は「大使及び外交官の出身国」についての説明を行っており、内容は各講師の意向に任せています。また生徒側の反応や希望テーマ等も考慮しつつ、授業内容を多少変化させたりもしています。積極的な訪問先では、校長室にいる大使や外交官にまで質問に来る生徒がいたほどでした。

4. 出張授業を通じて交流はさかんになりましたか？

出張授業後については、各EU加盟国大使館に対応に任せておりますが、個別に連絡を取り合い、その後も交流を続けている学校やEU加盟国大使館もあると聞いております。また「来年も訪問してほしい」という学校側の希望も多数寄せられておりますが、新規訪問希望校を優先していることもあり、同じ学校で2度目、3度目の出張授業を開催することは、大変困難な状況です。



5. インタビューを終えて

初めて訪問した駐日欧州委員会代表部でしたが、みなさんに温かくお迎えいただきました。駐日EU諸国大使及び外交官による出張授業は、基本的にボランティアによって行われており、みなさんの熱意によって支えられているのだと感じました。世界情勢に興味を持ち始める青少年らに対し、ヨーロッパ諸国の外交官から直接授業を受けられる、このような地方連携プログラムを是非継続していただきたいと強く願います。このたびは、快くインタビューに応じていただき、誠にありがとうございました。

平成21年5月14日
外務省 総務課地方連携推進室
長谷川 由希子